

令和5年第2回定例会
環境生活農林水産常任委員会 説明資料

(所管事項説明)

(1)	「令和5年版県政レポート(案)」について(関係分)	・・・	1	別冊1
(2)	第63回全国カンキツ研究大会の開催について	・・・	2	
(3)	みえ森と緑の県民税第3期に向けた検討状況について	・・・	4	別冊2
(4)	第44回全国豊かな海づくり大会の開催について	・・・	6	別冊3
(5)	各種審議会等の審議状況の報告について	・・・	8	

【別冊1】 令和5年版県政レポート(案)(農林水産部主担当施策)

【別冊2】 みえ森と緑の県民税第3期制度中間案

【別冊3】 第44回全国豊かな海づくり大会基本構想(素案)

令和5年6月
農 林 水 産 部

(1)「令和5年版県政レポート(案)」について(関係分)

1 農林水産部の主担当施策

「みえ元気プラン」における農林水産部の主担当施策は、表のとおりです。

表 農林水産部主担当施策

施策名		評価	別冊頁
4-3	自然環境の保全と活用	B	1
6-1	農業の振興	B	3
6-2	林業の振興と森林づくり	B	7
6-3	水産業の振興	B	11
6-4	農山漁村の振興	A	15

(2) 第63回全国カンキツ研究大会の開催について

1 柑橘の現状

本県における柑橘の生産は、紀南地域を中心に、優良品種への転換により高品質な果実の生産（栽培面積：1,390ha（令和2年、全国第15位））が行われるとともに、輸出品目としてもタイ等の輸出先から高い評価を受けています。一方で、生産者の減少による耕作園地の縮小や気候変動による栽培環境の変化が生じています。

柑橘の生産を維持・発展させていくためには、スマート技術の導入により、労働生産性の向上や気候変動への対応を図るとともに、消費者ニーズに応じた付加価値の高い果実の供給拡大を進めることが重要となっています。

2 全国カンキツ研究大会について

「全国カンキツ研究大会」（以下「大会」という。）は、柑橘産業の振興と発展に向けて、全国の生産者が一堂に会し、生産者相互の交流と連携を深め、次世代につながる魅力ある産地づくりへの意欲向上を図ることを目的として、全国の主たる柑橘産地において開催されています。

本年8月開催予定の「第63回大会」については、本県で開催（平成11年9月の第45回大会以来二度目）されることとなっており、大会では、本県の産地の取組を全国に発信し、生産振興の気運醸成を図ります。

3 大会の内容

大会では、「目指せ！きらりと光るかんきつ産地」をテーマとして、全国の優良事例発表や、紀南地域における柑橘の優良園地の視察が行われます。

本県における優良事例としては、

- ・ 作業の省力化や品質の向上（夏の太陽光による果実の日焼けの防止）に向けた、気象データと連動して細かな霧状の散水を行うスプリンクラーの実証
- ・ 県が育成した極早生品種「みえ紀南1号」のうち、厳しい出荷基準を満たした「みえの一番星」のブランド化の取組

を発信することとしています。

4 今後の取組

大会の開催に向け、市町やJAと連携して、研究大会の準備や視察園地の整備に取り組めます。

また、大会後は、大会で得られた主産県の取組情報や知見などを生かしつつ、全国に発信した本県の取組のより一層の強化を進め、柑橘の生産振興につなげてまいります。

【第63回全国カンキツ研究大会の概要】

(1) 開催日

令和5年8月30日(水)・31日(木)

(2) 会場及び園地視察

<1日目> 8月30日(水)

研究大会(優良生産者表彰、優良事例発表)

:シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢(伊勢市観光文化会館)

交流会・宿泊:鳥羽シーサイドホテル

<2日目> 8月31日(木)

園地視察 :熊野市 (株)金山パイロットファーム西地郷園地
御浜町 三重県農業研究所紀南果樹研究室
国営パイロット志原団地園地

(3) 主催

全国果樹研究連合会、三重県園芸振興協会

(4) 参加人数

600名(県外350名、県内150名、関係者100名)

(3) みえ森と緑の県民税第3期に向けた検討状況について

現在、みえ森と緑の県民税制度は、第2期（令和元～5年度）の取組を進めているところですが、令和4年度から、第3期（令和6～10年度）に向けた検討を行っています。

1 検討の経緯

これまで、市町・林業関係団体への意見聴取や「県民5,000人を対象としたアンケート調査」（以下「アンケート」という。）を実施しながら、「みえ森と緑の県民税評価委員会」（以下「評価委員会」という。）や本常任委員会において、検討を進めてきました。

令和5年4月11日に開催した令和5年度第1回評価委員会では、これまでの論点整理をふまえた「第3期制度中間案」（以下「中間案」という。）をご審議いただくとともに、4月13日から5月12日にかけては、中間案についてパブリックコメントを実施し、県民の皆さんからご意見をいただいたところです。

2 中間案（別冊2）のポイント

(1) みえ森と緑の県民税制度の継続

- ・ アンケートでは、みえ森と緑の県民税（以下「県民税」という。）を活用した取組の継続について、88%が「賛成」「どちらかといえば賛成」との回答であり、継続実施が望まれている。
- ・ 台風の大型化や異常気象に伴う災害が全国で発生するなど、「災害に強い森林づくり」の必要性は高い。
- ・ 「県民全体で森林を支える社会づくり」に向けては、森林教育をはじめとした森林や木材にふれあい・学ぶ機会の増加に向けた取組を長期的・継続的に実施していくことが重要である。
- ・ 以上から、県民税制度を継続する。

(2) 県民税のしくみ

- ・ 「2つの基本方針」について、ほとんどの市町・林業関係団体が「現行制度どおりでよい」との意見であったほか、アンケートにおいても、継続に賛成する理由について「長期的・継続的に取り組んでいくべき」との意見が最も多かった。
- ・ 「5つの対策」について、多くの市町・林業関係団体が「現行制度どおりでよい」との意見であったほか、アンケートにおいても、8割以上の方が「とても重要」「ある程度重要」との回答であった。
- ・ 以上から、2つの基本方針及び5つの対策を継続する。また、「税率・課税方法等」、「県による基金の設置」、「評価委員会の設置」は、現行制度どおりとする。

2つの基本方針及び5つの対策

基本方針	対 策
災害に強い森林づくり	1) 土砂や流木による被害を出さない森林づくり 2) 暮らしに身近な森林づくり
県民全体で森林を支える社会づくり	3) 森を育む人づくり 4) 森と人をつなぐ学びの場づくり 5) 地域の身近な水や緑の環境づくり

(3) 第3期の新たな取組

- ・ 森林の機能を維持するため、現行制度で取り組んでいる獣害対策に加えて、森林の機能を早期に発揮させるための対策を実施
- ・ 令和13年の招致を表明している全国植樹祭に向けて、開催の気運醸成を図るとともに、開催に必要な経費の積立を実施

(4) 第3期に必要となる経費

- ・ 令和6～10年度の5年間で想定される経費は55億円であり、このうち全国植樹祭に向けた基金積立を5億円と見込む。

(5) 市町交付金制度

- ・ 事業を効果的に展開するために、県と市町が役割分担した中で、効果的・効率的に事業を実施
- ・ 県と市町の配分は5：5を基本としつつ、要望に基づいた柔軟な配分を行う。
- ・ 森林面積や人口等を算定基礎として配分の上限額を設定したうえで、市町からの要望に基づいて配分する「基本枠」と、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの申請に応じて配分する「連携枠」を設ける。

3 第1回評価委員会における評価委員からの主な意見

- ・ 県民税を森林環境譲与税と棲み分けて活用していることが県民の皆さんに明確に分かるよう、しっかりと情報発信してほしい。
- ・ 全国植樹祭の開催経費について、県民税を積み立てる旨の説明を県民の皆さんに分かるようしっかり記述してほしい。

4 パブリックコメントでの主な意見

(提出意見数：18件)

- ・ 災害に強い森林づくりは重要であり、整備が必要な森林も多く残されている。県民税も軌道に乗りつつある時なので、さらに強力に対策を継続して欲しい。
- ・ 市民や小中学生への森林教育は進んできているが、多くの県民が参加し、学んでもらうには事前の周知を充実させる必要がある。
- ・ 森林教育が行える場の整備が進んでいるが、まだ導入事例が少ないことから、拡大をお願いする。

5 今後の予定

引き続き、評価委員会やパブリックコメントでの意見、本常任委員会での議論をふまえ、第3期制度最終案をとりまとめてまいります。

<今後のスケジュール(案)>

- 令和5年7月 第2回評価委員会(第3期制度最終案検討)
- 8月 第3回評価委員会(答申)
- 10月 9月定例会常任委員会(第3期制度最終案説明)

(4) 第44回全国豊かな海づくり大会の開催について

1 全国豊かな海づくり大会について

「全国豊かな海づくり大会」(以下「大会」という。)は、水産資源の保護・管理、海や河川など水域環境の保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、漁業の振興と発展を図ることを目的に、昭和56年度の第1回大会開催以降、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、全国各地で開催されています。

令和4年4月、国から令和7年度の第44回大会の開催について打診があり、同年9月、本県における大会開催が決定しました。本県での開催は、浜島町(現:志摩市)で開催した昭和59年度の第4回大会以来、二度目となります。

本年度からは、水産資源管理課に「豊かな海づくり大会推進班」を設置し、令和7年度の大会開催に向けた準備を進めています。

2 大会開催準備の進め方

大会開催に向けては、本年5月25日、第1回準備委員会を開催し、大会の基本理念や開催時期、開催場所、行事内容等を定める「第44回大会基本構想」(以下「基本構想」という。)の素案策定に係る検討を開始しました。

本年10月には、実行委員会を設置し、基本構想を決定するとともに、式典や行事等、大会の具体的な内容を盛り込んだ基本計画の検討を進めていきます。なお、実行委員会内には、基本計画について専門的な観点から検討を行うための幹事会・専門部会を設置する予定です。

(各委員会の構成メンバー)

組織名	構成メンバー	事務局
準備委員会	農林水産部長(委員長)、漁連会長、沿海市町課長等、関係団体理事等、県副部長等	農林水産部 水産資源管理課
実行委員会	知事(会長)、副知事、沿海市町長、関係団体長、県部長等	農林水産部 水産資源管理課

3 第44回大会基本構想(素案)(別冊3)の概要

[基本理念]

多様な農林水産物や自然、歴史、文化など、本県が有する魅力を全国に発信し、地域の活性化を図るとともに、本県の取組を通じ、水産資源の保護・管理、海や河川などの水域環境保全、自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴え、水産業の持続的な発展と豊かな海や川が次世代に引き継がれていくことをめざす。

[大会の概要]

(1) 名称

第44回全国豊かな海づくり大会 ～美し国みえ大会～ (仮称)

(2) 主催

豊かな海づくり大会推進委員会

第44回全国豊かな海づくり大会三重県実行委員会

(3) 開催時期

令和7年秋季(土曜日・日曜日の2日間)

(4) 開催場所

未定

(5) 行事内容

① 式典行事

豊かな海づくり活動功績団体表彰、最優秀作文の発表など

② 海上歓迎・放流行事

漁船等による海上歓迎パレード、稚魚の放流など

③ 歓迎レセプション

県産農林水産物の食材によるおもてなしなど

④ 関連行事

各種コンクール優秀作品の展示、企画展示・特産品販売など

(6) 大会テーマ等

公募により決定

4 今後の予定

引き続き、本常任委員会での意見をふまえ、準備委員会において、基本構想(案)の策定作業を進めます。また、県や市町のイベント等において大会のPRに取り組み、令和7年度の大会開催に向けた気運醸成を図ります。

<今後のスケジュール(案)>

令和5年7月25日	第2回準備委員会(基本構想(案)の策定)
令和5年10月6日	9月定例会会議常任委員会(基本構想(案)の策定)
令和5年10月中旬	第1回実行委員会(基本構想の決定)
令和5年11月以降	幹事会・専門部会(基本計画の検討)
令和6年3月	2月定例会会議常任委員会(基本計画の検討)
令和6年度	会場、大会のテーマ、タイムスケジュールの決定 大会1年前プレイベントの開催
令和7年度秋	大会及び行事の開催

(5) 各種審議会等の審議状況の報告について

(令和5年2月15日～令和5年5月31日)

(農林水産部)

1 審議会等の名称	三重県地方卸売市場運営協議会
2 開催年月日	令和5年2月22日(水)
3 委員	【会長】三重大学 准教授 中島 亨 ほか11名
4 諮問事項	三重県地方卸売市場における指定管理者制度活用の方針(案)について
5 調査審議結果	三重県地方卸売市場における指定管理者制度活用の方針(案)について説明するとともに意見をいただきました。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県森林審議会保全部会
2 開催年月日	令和5年2月28日(火)
3 委員	【部会長】三重大学 教授 中井 毅尚 ほか6名
4 諮問事項	風力発電施設の設置に係る林地開発許可申請及び保安林の指定解除の審査について
5 調査審議結果	津市芸濃町河内地内及び伊賀市上阿波地内における風力発電施設の設置に係る林地開発許可申請及び保安林の指定解除について審議していただき、意見をいただきました。
6 備考	

1 審議会等の名称	みえ森と緑の県民税評価委員会
2 開催年月日	令和5年4月11日（火）
3 委員	【委員長】三重大学 教授 石川 知明 ほか9名
4 諮問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・みえ森と緑の県民税条例附則第5項に規定するおおむね5年ごとに行う同条例の施行状況の検討に関する事項について ・令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価・提言について
5 調査審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね5年ごとに行う同条例の施行状況の検討について審議していただき、意見をいただきました。 ・みえ森と緑の県民税を活用して実施した令和4年度事業の評価・提言について諮問しました。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県地方卸売市場指定管理者選定委員会
2 開催年月日	令和5年5月22日（月）
3 委員	【委員長】三重大学 教授 常 清秀 ほか4名
4 諮問事項	三重県地方卸売市場の指定管理者選定に係る審査基準及び配点表について
5 調査審議結果	三重県地方卸売市場の令和6年度以降の指定管理者選定に係る審査基準及び配点表の案について審議していただき、意見をいただきました。
6 備考	